



ポットラック

プロジェクト

ワークショップ

開催日 2024/04/25 thu.

REPORT 06

S&Dスポーツパーク富士見を起点としてさまざまな世代、さまざまに暮らす市民の皆さんにとっての居場所をつくっていく「ポットラックプロジェクト」のふりかえりワークショップが 4 月 25 日にクラブハウス 2 階ミーティングルームで開催されました。21名の方が参加され、3月のイベントのふりかえりや今年度の活動のすすめ方を話し合いました。このレポートでは当日の様子をご紹介します。

ポットラックプロジェクトって？

自分の楽しみ、やりたいこと、できることを持ち寄る。
小さくはじめる、日常の公園あそび。

本事業は地域の皆さん自身が、公園を「つかう」「つくる」「つなぐ」ことで、さまざまな世代、さまざまに暮らす皆さんにとっての居場所をつくっていく事業です。2023 年度から 3 年かけて取り組みます。「トーク」「ワークショップ」「イベント」の 3 つのプログラムの中で、公園での過ごし方について考え、企画をつくり、実践。それを繰り返し行うことで、一過性ではない、新しいつながりと日常の中での過ごし方が生まれることを目指します。皆さんが普段の生活で愛用しているもの、やってみたいと思っていることなどを「持ち寄り（ポットラック）」してほしいという想いをこめて命名しました。



3月のイベントのふりかえり

まず最初に、3月2・3日に実施されたポットラックピクニックを、当日の映像や写真などをみながらふりかえりました。当日は12のプログラム（公園の過ごし方のお試し）が実施され、2日間で700名をこえる来場がありました。当日の様子はレポートにもまとめ、クラブハウスでも配布しています。ぜひこちらもご覧ください。



イベントをふりかえり、 今年度の取り組みを考えよう

STEP 01

今回は、3月のイベントをお試しいてみて「よかったこと」、「気になったこと」、「今後やってみたいこと」をふりかえりました。はじめての開催でしたが、実現できたこと自体がよかったという反面、安全面や、準備面など今後にもむけた改善点もみえてきました。



よかったこと

- 〇 焚き火を囲むと人との距離が近くなり会話がはずんだ
- 〇 ジャン글ジムへのメッセージを子どもたちが楽しそうに書いていた
- 〇 始めてみるきっかけになり、今後の可能性がみえた
- 〇 自分なりの公園の使い方を様々な人に体験してもらえた

気になったこと

- 〇 火を扱うプログラムは安全性に配慮したい
- 〇 プログラム実施者は忙しく、チルすることができなかった
- 〇 準備と片付けをみんなでできたらよかった
- 〇 事前の広報に力を入れたい
- 〇 全天候、全季節に対応できるようにしたい
- 〇 会場全体で BGM があると良い

今後やってみたいこと

- 〇 防災にもつながるような過ごし方
- 〇 砂遊びや木登り体験、鬼ごっこなど子どもたちと公園遊びを楽しむ
- 〇 公園の遊具をみんなでつくってみたい
- 〇 パータイムやパブリックビューイングなど夜に公園を使ってみたい
- 〇 蓄電池を公園で使えるように用意しておいてもよいかも!

STEP 02

次に「自分自身やまち全体にどんな変化があったら良いか」、「今年度やってみたいこと」、「今年度、学びたい・知りたいこと」を考え、これからの活動のイメージをふくらませました。「ポットラックプロジェクト」を通して、**顔見知りが増え、助け合いができる関係性を築いたり、まち全体へこの活動を広げていきたい**という声があがりました。



2024 年度のすすめ方（案）

最後に、無理なくイベントを開催したり、集まることができるようこれからの活動予定を検討しました。話し合いをもとに、今年度は下記のスケジュールをベースに取り組みを進めていきます。

